

「地域の中核、世界の人材」 U N I V E R S I T Y O F Y A M A N A S H I

山梨大学広報[ヴァイン]

August 2011 vol.14

Vine

臨床教育センター

卒前教育から生涯教育まで
—地域医療のコントロールタワーを目指して
臨床教育センター長 板倉 淳

[人物発掘]

鳥海順子 教授
(教育人間科学部障害児教育講座)

[びっくあっぷレッスン]

工学部 生命工学科 生物工学実験

[ゼミ紹介]

教育人間科学部 共生社会講座

サークル紹介/クローズアップびーふる/気になるお店



臨床教育センター

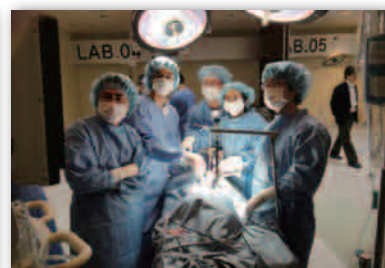
<臨床教育センター創設の背景>

2004年より導入された卒後臨床研修制度も7年が経過し、この間医療界特に地域医療には大きな変化が起こりました。すなわち、若手医師の首都圏集中による地方大学の若手医師不足と、これを補うべく医師の引き上げによる地域中小病院の医師不足と医療崩壊です。山梨大学医学部附属病院も2007年以降、それまで60%を超えていたマッチング率(研修医募集定員に対する研修医内定率)が減少傾向となり、ついに昨年は内定研修医数16名、マッチング率26.7%という過去最低の数字となってしまいました。原因検証の中で、まず問題となったのが研修をサポートする卒後臨床研修センターの組織としての脆弱さでした。これまで、本学には初期研修を統括する卒後臨床研修センターと、3年目以降の専門医教育をサポートする医師キャリア形成センターが存在しました。医師キャリア形成センターは、大学病院における後期研修での医師確保を目的とした文科省の「大学病院連携型高度医療人養成推進事業」に基づいて設立されたセンターです。本学は浜松医科大学・北里大学・昭和大学・聖マリアンナ医科大学と連携した「FUJIYAMA-Net」というグループで専門医養成の新たなプログラムを提供してきました。この二つのセンターを統合し、より強力な組織として設立されたのが「臨床教育センター」です。

<センターの取り組み>

先のマッチング率低下を受けて行われた研修医、学生等のアンケートや他大学との比較から、研修内容の改善と研修環境の改善の必要性が浮き彫りになりました。研修内容としては、多くの研修医から強い要望が寄せられた1次2次救急での研修を充実させることが喫緊の課題と考えられました。これに対しては、新たに地域2次救急輪番制に参加することによって改善を図っています。また、24年度からは先の大学病院連携事業(FUJIYAMA-Net)に基づいて、全国的にも救急診療に定評がある聖マリアンナ医科大系列病院、北里大学での研修が可能となります。また、十分な研修を遂行するうえでの肉体的、精神的な健康の維持、研修医・指導医の健全な関係を維持することを目的にメンター制を導入しています。これは研修医(メンティー)により指名された先輩医師がメンターとなり、研修診療科の指導医とは別に年間を通じて第三者的な支援やアドバイスを行う体制です。ひとつの診療科での研修期間が短い現在の卒後臨床研修制度においては、このメンターの存在は大きな役割を担うものと考えています。さらに、大学病院連携事業(FUJIYAMA-Net)で提供されるさまざまな教育・研修の機会を専門医のみならず研修医にも提供しています。これにより自大学以外の指導医から技術指導を受けることが可能となり、特に技術系専門医を目指す若手医師にとっては貴重な経験となっています。

<腹腔鏡下手術講習会>
5大学より参加した指導医と研修医が入れ替わりながら技術指導を行います。

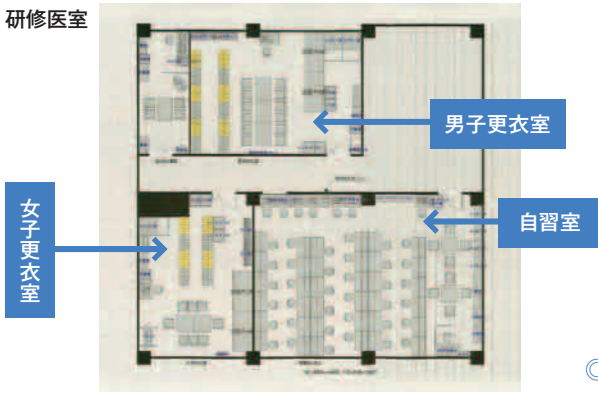


<女性医師シンポジウム>
研修医からベテラン医師まで、5大学の女性医師によるシンポジウムとワークショップ



近年、女性医師の割合が増加する中、本学でもその数は全体の1/4を占めるほどとなっています。従来女性医師は結婚・出産・子育てなどを契機に医師としてのキャリアを制限せざる負えなくなることがしばしばありました。しかし、能力的にも数的にも貴重な人材である女性医師が、個人のライフプランとともに医師としてのキャリアプランを充足できる環境を整備することは、今後大学のみならず地域医療の底上げに必要な事と考えられています。当センターでは、女性医師キャリアをサポートするため、大学病院連携事業(FUJIYAMA-Net)を通じてシンポジウムやワークショップを開催し、就労環境整備のための提言なども行っています。

研修医室



研修環境の改善としては、これまで男女兼用の居住スペースであった研修医室を改修し、各研修医に机と本棚を備えた自習室と、男女別でシャワールームを完備した居住スペースの設置を進めています(8月完成予定)。同時に、本学がここ数年間力を注いで集積してきた様々なシミュレーション教育機器を一括管理し、学生、研修医、医師、看護師がいつでも実技トレーニングが行えるシミュレーションセンター(7月完成予定)の設置も進めています。この施設は学内のみならず広く地域の医療従事者や中高生にも開放し、生涯学習や将来地域医療を担う人材の育成にも活用していく予定です。

◎シミュレーションセンター

基本・専門手技ブース



腹部エコー



心音呼吸音聴診



消化管内視鏡



静脈採血



動脈採血



気管支鏡



経鼻胃管挿入

救急蘇生・手技ブース



Sim Man (ACLS)



気管挿管



シムベビー(PALS)



胸腔ドレーン挿入



レサシアン(CPR)



腹腔鏡シミュレーターを用いた腹腔鏡下の縫合の研修



急速堕娩用シミュレーターを用いた鉗子分娩の研修

<卒業臨床研修プログラムの特徴>

本学における卒業臨床研修プログラムの特徴は、多様な医師としての資質を基礎研修で育成するため、自由度の高い研修プログラムを提供している事にあります。基本コースでは、大学での一貫した研修を行うプログラムA、1年間協力病院で多くの common disease を診療するためのプログラムBもしくはプログラムCを選択することができます。また、将来専門とする診療科目を重点的に研修する4つのキャリアコース(産婦人科重点研修コース、小児科重点研修コース、外科重点研修コース、内科重点研修コース)も設定しています。より多くの研修協力病院(たすきがけ方式)を県内のみならず関東(東京、横浜、埼玉)、静岡などに設置する事により、他研修施設にはない研修の自由度を提供しています。

◎基本コース

[プログラムA] 28名(1年目、2年目【大学】)

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|------|------|----|----|----------------|---|----|
| 0 | 6 | 9 | 10 | 12 | 0 | 2 | 3 | 4 | 12 |
| 内科 | 救急 | 産科 | 選択必修 | 選択必修 | 地域 | 精神 | 選択(1.5×4, 2×1) | | |

[プログラムB] 2名(1年目【大学】、2年目【協力病院】)

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|------|------|----|----|----------------|---|----|
| 0 | 6 | 9 | 10 | 12 | 0 | 2 | 3 | 4 | 12 |
| 内科 | 救急 | 産科 | 選択必修 | 選択必修 | 地域 | 精神 | 選択(1.5×4, 2×1) | | |

[プログラムC] 12名(1年目【協力病院】、2年目【大学】)

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|------|------|----|----|----------------|---|----|
| 0 | 6 | 9 | 10 | 12 | 0 | 2 | 3 | 4 | 12 |
| 内科 | 救急 | 産科 | 選択必修 | 選択必修 | 地域 | 精神 | 選択(1.5×4, 2×1) | | |

◎キャリアコース

[産婦人科重点研修] 2名(1年目、2年目【大学】)

| | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|-----|------|---|--|--|--|
| 0 | 3 | 9 | 12 | 0 | 1 | 3 | | | |
| 産婦人科 | 内科 | 救急 | 地域 | 小児科 | 産婦人科 | | | | |

[小児科重点研修] 2名(1年目、2年目【大学】)

| | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|------|-----|---|--|--|--|
| 0 | 3 | 9 | 12 | 0 | 1 | 3 | | | |
| 小児科 | 内科 | 救急 | 地域 | 産婦人科 | 小児科 | | | | |

[外科重点研修] 2名(1年目、2年目【大学】)

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|------|----|---|----|--|--|
| 0 | 3 | 9 | 12 | 0 | 1 | 3 | 4 | | |
| 外科 | 内科 | 救急 | 地域 | 選択必修 | 産科 | | 外科 | | |

[内科重点研修] 2名(1年目、2年目【大学】)

| | | | | | | | | | |
|----|----|----|------|----|---|----|---|--|--|
| 0 | 3 | 9 | 12 | 0 | 1 | 5 | 6 | | |
| 内科 | 救急 | 地域 | 選択必修 | 産科 | | 内科 | | | |

<センターの目指すもの>

大学医学部、特に地方の大学医学部が担う役割のひとつは、卒前教育→卒業臨床研修→専門医教育→生涯学習という時間的な縦軸と、地域の病院・診療所・医院を対象とした空間的な横軸を念頭にして展開される医師教育であると考えています。以前は専門診療科の集合体として閉鎖的な環境を作りだしていた医局制度を開放し、地域医療にとっての知識・技術のみならず人的ソースとして機能していく事が求められていると考えます。厚労省も医師の地域偏在の解消を目的に地域医療支援センター事業を立ち上げ、大学病院にそのコントロールタワーとしての役割を期待しています。全国的にも医師不足が著しい山梨県においては、県行政や県立中央病院等の基幹病院との連携も重要であり、その中核として臨床教育センターが主導的役割を担えるよう整備を進めていきたいと考えています。

鳥海順子教授

(教育人間科学部 障害児教育講座)

東京学芸大学大学院教育学研究科を修了し、
私立大学の教員を経て本学の教員に。
障害児教育学や臨床心理学の
教育・研究をしている傍ら、
「オペラ鑑賞や合唱が大好きで、
根気と体力そして子どもと
すぐ仲良くなれることでは負けません。」と
語っている鳥海順子教授にお話を伺いました。

発掘人物

TORIUMI Junko



オペラ鑑賞に夢中だと お聞きしましたが。

オペラは、音楽、美術、舞踊などが一体となったすばらしい総合芸術であり、ソリスト一人ひとりのドラマチックな歌声に感動し、魅了されます。たくさんの著名な音楽祭の中で、毎年夏に開催される世界的にも有名な『ザルツブルグ音楽祭』を鑑賞するのが夢です。ザルツブルグはモーツァルトが生まれた町、そして映画『サウンド・オブ・ミュージック』の舞台になった町として有名です。

どんなお子さん だったのですか？

生まれは東京ですが、父の転勤に伴い、幼少時代は四国で過ごしました。外で遊ぶのが大好きで、友達と野山で暗くなるまで虫取りをして遊んでいました。小学校の時、合唱と出会い、4年生の時「NHK合唱コンクール」の四国大会に出場しましたが、惜しくも2位で全国大会に出場できなかったのがひじょうに悔しかったですね。大人になった今も社会人の合唱団で歌っています。合唱は、

お互いの声を聴き合い“ハモる”ことに魅力を感じています。得意だった科目は、音楽、国語、生物です。苦手な科目は物理でした。体育も苦手でしたが、小学校低学年の頃、鉄棒の「逆上がり」を必死で練習し、努力した成果もあってできるようになった時は嬉しかったですね。走るの速かったので、運動会ではいつもリレーの選手でした。

どんな高校時代を 過ごしたのですか？

高校は、学園紛争や反戦運動があった時代で、授業が成り立たない学期がありました。それらを乗り越えることによって大人になろうと悶々としていた気がします。もちろん、高校時代も合唱は続けていました。その頃、一番影響を受けたのが、生徒の意見をいつも真剣に聞いてくれて対等に議論して下さった先生です。その経験から、学生達の意見を尊重することを重要だと認識し、学生指導にいかそうと務めています。もう一度高校生に戻れるとしたら、いろいろなスポーツに親しみたいですね。特にチームワークを基点とした球技にチャレンジしたいです。また、物理の

勉強もやってみたいですね。

大学時代はいかがでしたか？

1学年20名の仲間と大学教員になられたばかりの若い担任の先生と共に、学部時代を過ごしました。その先生に勧められて学生だけの自主ゼミを作り、教育に関するいろいろなことを調べては議論しました。学部時代のクラス会は、卒業してから1年も欠かさず続いています。大学時代もちろん合唱団に入り、100名近い仲間と活動していました。

大学の教員になった きっかけは何ですか？

養護学校(現特別支援学校)の先生になることが夢でしたが、もっと自分自身に力をつけたいと思って大学院に進学し、その結果研究者の道を歩むことになりました。教員養成大学の教員となり、障害児に理解と知識のある先生をひとりでも多く育てたいと思っています。恩師にも勧められた山梨大学に採用となった時はひじょうに嬉しかったですね。山梨大学で仕事ができることに誇りを持

っています。子どもの頃の夢は、ナイチンゲールに憧れて看護師になりたかったです。ナイチンゲールは、多くの看護婦を率いて傷病者の救護にあたり「クリミアの天使」と呼ばれ、その後も病院・看護施設の創設・改善に努力し、看護婦の教育制度を整えた人です。今でもチャンスがあればなりたいたい職業です。今までで一番困ったことは、学会の口頭発表で発表原稿を忘れてしまったことですね。予行練習を何度か行っていたので、ぶっつけ本番でなんとか乗り切ることができました。最近、健康のためになるべく歩くようにしています。機会があれば、友人と山へ登ることもあります。

今の大学生に一言

真面目に課題をきちんとこなすタイプの学生が多いですが、もっといろいろなことに目を向けて広い世界を知って欲しいと思います。IT機器の進歩によって瞬時にいろいろな世界とつながるようになりました。しかし、本当に自分で納得できるものを得るためには、エネルギーと時間がかかります。労を厭わず、自分の知りたいこと、やりたいことととことん挑戦して欲しいです。大学の4年間は、人生の中では短いですが、自分の生き方を左右するとても大切な時間です。若さと体力と時間を有効に使って、何かに打ち込んで欲しいと思います。私の所属する障害児教育講座では、学生達だけで代々引き継がれているボランティア活動があるのですが、学生間のチームワークが素晴らしいです。

最後にもうひとつ、学生時代に本音で語り合える友人を是非作って欲しいですね。一生の宝物になります。学生生活や将来について不安になることもあるかもしれません。そんな時にこそ、友人や大学の教員と大いに語り合ってください。就職については厳しい状況が続きますが、大学のスタッフも普段からいろいろな形で応援しています。そのような機会を積極的に活用し、早い時期から準備をしていた学生は良い結果を出しているように思います。

これから受験する高校生に一言

それぞれの大学には、そこで過ごしてきた多くの教員や学生達によって長い時間をかけて創られた、独特の学風があります。目に



は見えませんが、学生が育つための大切な要素のひとつです。あなたが求めている学風を見つけて欲しいと思います。そのために、大学の公開授業やオープンキャンパスなどの機会を活用し、教員や在学生と積極的に交流してください。

子ども図書室について教えてください

子ども図書室は、大学の地域貢献と学生の実践教育の場として、平成12年5月に開設され、私は平成21年度から子ども図書室長を兼務しています。現在、学生ボランティアによって、月・水・土曜日の週3回開いています。就学前のお子さんやその保護者及び一般の方々も含めて、どなたでも利用できます。主な活動は、図書の貸し出しの他に、学生による読み聞かせや七夕などのイベントであり、年間延べ2000人前後の利用があります。昨年10月下旬「まちなか子ども図書室」として2日間甲府中心街で活動し、小さな子ども達に大人気でした。今後も、さらに地域に根ざした子ども図書室を目指したいと思っています。

友人や大学の教員と大いに語り合ってください。

人物発掘◎鳥海順子教授

【略歴】

- 1976年3月 東京学芸大学教育学部特殊教育学科卒業
- 1978年3月 東京学芸大学大学院教育学研究科障害児教育学専攻修士課程修了
- 1980年11月 大和学園女子短期大学幼児教育学科(常勤)講師
- 1990年4月 大和学園聖セシリア女子短期大学助教授
- 1996年11月 筑波大学にて博士号取得
- 1997年4月 大和学園聖セシリア女子短期大学幼児教育学科教授
- 2002年4月 山梨大学教授

【専門分野】

障害児教育学、臨床心理学

【研究テーマ】

教師の行動解読能力の開発、特別な教育的ニーズに関する研究、知的障害児の要求表出行動の発達の研究





[担当教員]
工学部
生命工学科

宇井定春 教授
黒澤 尋 教授
早川正幸 教授
大槻隆司 准教授
長沼孝文 准教授
中村和夫 准教授
野田悟子 准教授
中川洋史 助教
山村英樹 助教



[到達目標]

生物工学は、応用のために多くの知識と技術が求められるため、この実験を通して実験機器や装置、試薬の取り扱い方を学び、微生物を利用した実験の知識や基本的な技術を身につけることを目標としています。また、どのようにしたら実験目標へ効率よく到達できるかを考える力も養います。

生物工学実験

[授業の概要]

この授業は3年生を対象に週5日、1年間かけて行い、これまで履修してきた講義、演習で得た知識が生かされます。本年度の実験の内容は「生化学の基礎実験と器具、装置、試薬の取り扱い」、「微生物の培養と生物工学反応の測定」、「微生物の観察、分類、同定」、「遺伝子操作実験」の大きく4つに分かれており、生物化学実験に関する基本的な理論や知識、技術が習得でき、段階的に実際の研究に近づくように組み立てられています。この実験では基本的な器具や装置の使用方法や試薬に関する注意点等を学び、生体を構成する物質の分離と定量や、実際に微生物を利用して物質の生産を行います。微生物を扱うため、手指の消毒をして雑菌の混入を防いだり、遺伝子を組み換えた微生物が外に出ないように、手順だけでなく動作にも慎重さが求められます。



実験では予習と復習が特に重要となります。効率よく実験を行うために毎回予習をし、講義だけではわからない細かい手順や方法を、指導書を読んで理解してから実験を行います。実験で得られたデータや反応は、ノートにまとめたりスケッチをして結果の考察をし、失敗した要因を探ったり、実験内容の復習をします。実験終了時に提出するレポートには、そのノートや指導書、文献を参考にしながら、得られた結果とその考察を記載します。レポートを作成することで、実験の内容を自分の頭で再度組み立て、より正確に深く理解することができます。また、試薬の調整や機器の準備、反応や操作にかかる時間等を考慮しながら実験を行うため、目的を達成するまでの時間設定を考える力も身につきます。

毎日の実験やレポートは大変ですが、班員と協力しながら行うことで楽しく、先生や先輩に質問をすることで理解しながら実験を進めることができます。

この1年間の実験で身についた知識や技術を4年次からの個人の研究に生かし、応用ができればよいと思います。





国や自治体等の活動の仕組みや課題を探る



演習の一コマ

卒論のテーマとゼミ生の進路

これまで25名のゼミ生が卒論を提出しましたが、そのテーマは環境、教育、景観、財政、自治会、市民参加、地域活性化等、公共的な課題に関わるありとあらゆる領域に及んでいます。研究アプローチに制約はありませんが、ゼミ生の多くは、図書・雑誌論文・行政資料等の文献調査と現地視察・ヒアリング・アンケート等の事例調査を組み合わせ、自身が設定した課題の解明に

公共的な課題への関心

私たちの日々の暮らしは、学校教育、道路、上下水道、ごみ処理をはじめ、国や地方自治体が提供する多様な行政サービスによって支えられています。私が専門とする行政学・地方自治論は、私たちの生活の隅々まで浸透している国や自治体等の活動の仕組みや課題を探っていく学問です。当ゼミでは、国・自治体・非営利組織(NPO)等が何らかの形で関わる公共的な課題について調査・研究を行っています。

全員で一つのテーマを設定し共同研究に取り組みます。ここ何年かは、その成果を他大学のゼミとの合同研究会の場で発表してきました。この共同研究と並行して各自の関心に沿って卒論のテーマを絞り込み、応用演習、卒論指導では数週間に一回のペースで研究の進捗状況を報告し、研究を深化させていきます。最終的には4年次の1月中旬までにA4用紙で50ページ前後の卒論を書き上げ、コースの全教員・学生が出席する卒論発表会で報告します。

挑戦しています。

行政学・地方自治論を学ぶと言っても公務員を目指す学生は一握りで、ほとんどのゼミ生は様々な業種の民間企業に職を得て巣立っています。しかし、公共的な課題の解決はいまや公務員だけに委ねられるものではなく、私たち一人一人の積極的な関与がますます求められるようになっていきます。社会の構成員の一人として歩んでいく中で、ゼミでの学びが少しでも役に立つことを期待しています。

ゼミのあらまし

共生社会コースでは、3年次の6月に本人の志望に基づきゼミの配属が決まり、基礎演習(3年次後期)、応用演習(4年次前期)、卒業論文指導(4年次後期)と1年半にわたって教員とゼミ生が協働して学びの場を創り上げています。現在、当ゼミには4年次生6名、3年次生6名が所属しています。ゼミの運営スタイルは教員によって千差万別ですが、当ゼミは次のような流れで進行しています。

基礎演習では、個人研究(卒論)に本格的に着手する前の手習いを兼ねて、ゼミ生



他大学との合同研究会

山梨大学吹奏楽団



こんにちは、山梨大学吹奏楽団です♪いきなりですが、まずは写真を見て下さい!吹奏楽団の雰囲気が伝わったでしょうか??私たちはこの写真のように、日々楽しく、一生懸命、練習や活動に励んでいます!

…これで、吹奏楽団の半分近くはお伝えできたと思うのですが、より深く私たちの活動を知って頂くために、もう少し詳しく山梨大学吹奏楽団の魅力をご紹介します!

吹く 吹奏楽団の一番の魅力は、何といっても楽器が演奏できること!「楽器やってみたいな」というやる気さえあれば、未経験者でも大歓迎です♪実際、小学校から楽器を続けている人からまったくの初心者まで、団員の楽器経験はさまざま。楽器歴に関係なくお互い刺激し合いながら日々練習を重ね、大学から楽器を始めた人も活躍しています!



奏でる 練習した成果は、お客様の前で演奏することで発表します。吹奏楽コンクールへの参加、定期演奏会の開催の他、小中学生への楽器指導、他大学団体との合同演奏会、病院や幼稚園での訪問演奏など、多くの活動機会を頂いています。自分たちの演奏を多くの方に聴いてもらえたとき、「楽しかった」と言ってもらえたときなど、一番嬉しい瞬間です♪

楽しむ 吹奏楽団の隠れた(?)魅力の一つが、「大学生らしく全力で遊ぶ」ということ!我が団には、楽しいイベントが盛りだくさんです♪新入生歓迎会に始まり、お花見にBBQ、さらにはもはや音楽とは何の関係もない、スキー合宿や



学院大の吹奏楽団とのソフトボール試合などなど…吹奏楽団員は、楽器をおいても全力です(笑)

団体 現在吹奏楽団では、さまざまな学部、学科の四十名以上の団員が活動しています。また、顧問の先生、OB・OGの先輩方をはじめ、県内の他大学や一般の吹奏楽団体、講師の先生等、多くの方々に支えられて活動しているので、本当にたくさんの出会いがあります!音楽を通して得られる、学年や大学の枠をも超えて広く、そしてときには学科の友達以上に深い人間関係は、きっと一生の宝物になります♪

さて、これで吹奏楽団の八割くらいはお伝えできたかな?と思います。残りの二割は…実際に私たちの演奏を聴いて、知って頂きたいです!吹奏楽団では、年一度の定期演奏会の他、春と冬に生協前でコンサートや、大学祭の仮装パレードでも演奏を行っています。是非注目してみてください!また吹奏楽団は、常時団員大募集中です!!月・水・金・土曜の活動を基本とし、L号館C棟または学生会館で練習をしています。お気軽に見学に来てください!



コンサートで、また練習場で、皆様にお目にかかれましてを団員一同楽しみにお待ちしております!



〈サークル紹介〉

軽音楽部

CAMPUS



こんにちは、山梨大学医学部軽音楽部です。現在私たちは50名前後の部員で活動しています。練習は定期的に決まっているわけではなく、バンドごとにいつでも自由に行っています。楽器の構成もバンドごとに自由です。…と、自由奔放すぎて一見、どんな活動をしているかわからない部活かもしれませんが、今回はそんな軽音楽部について紹介させていただきます。バンドを組む基本的な構成としては、ボーカル・ギター・ベース・ドラム・キーボードという組み合わせが多いですが、エレキバイオリンやエレクトリックアップライトベース、カホンという打楽器を用いるバンドもあります。また、カオスパットという機材を使って独創的な音楽をつくることもできたり、自作の映像を流しながらの演奏を行ったりすることもできます。

『音楽という枠組みの中で自由に自己表現を行う』。

これが軽音部の主な活動内容だと思います。軽音楽部は経験者が多いと思われるがちですが、部員の半数以上は初心者からのスタートです。最初はついていけるか心配になる人もいますが、練習しだいで経験者に負けないくらい上達する人もいます。また、経験者で入部した人でも、新しい楽器にチャレンジして音楽の幅を広げていく人もいます。

主な行事としては、定期的に行われるライブがあります。クリスマスセッションなど、部室で小規模に内輪で行うこともあれば、新歓ライブなど外のライブハウスを1日借りて本格的な機材でライブを行うこともあります。

軽音楽部の一番大きなイベントは医学祭です。ほぼすべてのバンドが1年間の活動の成果を発表する場になります。卒業生の引退式もかねているので、毎年多くのお



客さんが集まります。また夏と春には5泊6日で合宿をおこなって、集中的に技術の向上を目指します。練習ばかりではなくバーベキューをしたり花火をしたりと、軽音楽部の部員の交流を深める大切なイベントです。

他の大学との交流も盛んで、年に一度は全学の軽音楽部さんと山梨学院大学の軽音学部さんと合同のライブを行います。去年は全学のフリーミュージック部さんと初の合同ライブをフルーツ公園で行うこともできました。新しいコミュニティの音楽に触れることによって、興味の幅が広がり、より音楽について学ぶことができます。

このような活動を通して、**軽音楽部は音楽の楽しさを共有しています。一度ライブに遊びに来てはいかがでしょうか？**



close-up people

◎医学部看護学科2年生 加藤知佳さん

演習や実習、
『実際にやってみる』
という授業は
毎回新鮮です。



も素晴らしい貴重な経験をした10日間
でした。タイでの会話はもちろん英語
なので、結構苦労しました。あ
と、危うい食べ物をいっぱい
食べたのですが、お腹は壊し
ませんでした!!今回の旅で、
『私って意外と適応力があ
るんだな〜』と感じました
☆

部活動楽しそうで
すね♪
ところで趣味は
なんですか?

まず、自己紹介を
お願いします!!

こんにちは!!加藤知佳です。出身は米ど
ころの新潟です。医学部看護学科の2年生
で、1人暮らし歴2年目になりました。自炊と
か洗濯とか掃除とか…やるのがいっぱ
いありすぎて親の偉大さに、大学生になっ
て改めて思い知らされています(笑)でも、
友達が近くに住んでいるので、毎日楽し
いです♪

大学生活はどうですか?

一言で言うとうごく楽しいです!!勉強面
では自分の学びたいことが学べるし、私は
看護学科なので演習や実習がたくさんあ
り、とても楽しいです。『実際にやってみ
る』という授業形態は大学生になるまで
ほとんどなかったので、毎回新鮮です。
また、梨大は部活動も盛んなので勉強以
外にもすごく充実しています☆その中で、
医学科と看護学科での交流もたくさんあ
り、幅広くたくさんの人と付き合えて楽し
いです。

部活動の話が出てきましたね。
詳しく教えてください。



看護学科の友人と

大学っていうと『サークル』というイメージ
を持っていたのですが、梨大に入学したと
き『あ、部活なんだ。』と衝撃を受けたこと
を覚えています(笑)私は軟式テニス部と
海外医学研修会に所属しています。

テニスは大学から始めたので、まだまだへ
たくそですが、テニスが大好きです。た
だ…山梨の日差しは強いので、夏にな
ると真っ黒になってしまいます(笑)部活
では、テニスの練習をするだけではなく、イ
ベントも盛りだくさんなので、同学とも仲良
くなれるし、先輩・後輩とも交流がもて
て、充実した時間を送ることができます。

海外医学研修会(略して海医研!)は年に
一度、海外に研修に行きます。昨年度は
タイに行ってきました。タイの医療を学ん
だり、病院などの施設を見学したり、とて

大学になるまで『趣味は?』と聞かれても
『う〜ん…』って感じだったのですが、今
は楽器が趣味になりました。中学・高校と
6年間サックスを吹いていたので、今でも
たまに吹きたくて吹いています。あとは
ラーメン屋さんをめぐること!!ラーメンが大
好きなので、山梨でおいしいラーメン屋
さんを探しています!!お勧めがあったら是非
教えてもらいたいです〜

そうそう、
後輩が1番気になるであろう、
バイトについても
聞かせてください。

私は家庭教師をしています。バイトって大
学生っぽくないですか?私にとって憧れ
だったので、すごく楽しいです♪週に1~2
日のペースなのでそれほどがっつりやっ
ているわけではありませんが、自分の学ん
できたことを教えてあげるってとても楽しい
ですよ。

最後に後輩に一言!!

大学で何をしたいのか、具体的なイメージ
を持っていると、充実したキャンパスライフ
を送ることができると思います。偉そうな
ことを言っておきながら、私もまだあやふ
やなのですが…(笑)でも、日々探求中もな
かなかいいものですよ!

自分から積極的に行動することで大学は
いくらかも楽しくなると思います。みんな
にとって、素晴らしいキャンパスライフが送
れますように…☆



留学先であるBCN大学のキャンパスにて



タイのスワンナブーム空港で

Cafe ショコ・ラ

山梨県中巨摩郡昭和町河西1023
 [電話]055-75-7766
 [営業時間]ランチ/11:30~15:00(ラストオーダー14:30)
 ディナー/17:00~22:00(ラストオーダー21:00)
 [定休日]12月30日(水)ディナータイムから1月2日(土)
 [駐車場]有



医学部から車で5分。居酒屋さんなどが入った建物の2階に、一見よくあるおしゃれなカフェがあります。外観は普通のカフェですが…中に入ってびっくり!実は、「メイド風カフェレストラン」なんです!ランチタイムはおしゃれなカフェとして、美味しいランチが楽しめます。一方、ディナータイムになると…可愛いメイドさんが笑顔いっぱいでお迎えしてくれる、山梨では数少ない、素敵なメイドカフェに変身します。

このお店の魅力は、メイドさんだけではありません。「Cafe ショコ・ラ」は甲府市国玉町にある「Ristorante ショコ・ラ」の姉妹店で、お料理も本格的で美味しいものばかり。1番人気はパスタの中でも、天使の海老と渡り蟹のトマトクリーム。人気がありすぎて、休日のディナータイムでは19時で売り切れていることも。パスタの種類がとても豊富で、ソースを自分で決めることもできます。もちろん、メニューにはしっかりオムライスもあって、注文すればメイドさんがケチャップでお絵かきしてくれます。

また、メイドカフェといっても、店内は落ち着いた雰囲気、ゆったりと時間を過ごすこともできます。パフェなどのデザートも充実しているので、友達と会話を楽しみながら過ごすにも良いお店です。

本格的なイタリアンを求めていくのもよし、可愛いメイドさんに癒されに行くのもよし。「Cafe ショコ・ラ」で素敵な時間を過ごしてみたいいかがですか?

ランチタイムはおしゃれなカフェ、 ディナータイムは素敵な メイドカフェに。



メイドカフェですが、落ち着いた雰囲気の内観

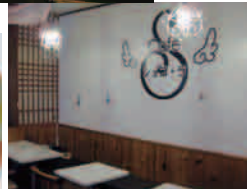


2階の看板が目印



メイドさんがお絵かきしたオムライス

サーモンとブロッコリーの
パスタ(クリームソース)



くつろぐ

山梨県甲府市緑が丘2-10-1
 [電話]055-251-6050
 [営業時間]11:00~20:00
 [定休日]不定休
 [駐車場]有



おいしいコーヒーと手作りケーキで ゆ〜ったりくつろぎの時間を。



数寄屋造りが特徴的な和洋折衷の外観



自慢のコーヒー豆



カウンター



自慢のコーヒーとブルーベリーのシフォンケーキ



店内の可愛らしいインテリア

自家焙煎珈琲と手作りケーキのお店です。

店名「くつろぐ」には…お店を訪れた人が、ゆったりと長く、くつろいでもらえるように…という思いが込められています。数寄屋造りの建物で、店内はコーヒーのいい香りが漂う、落ち着いた素敵な空間が広がっています。

良質なコーヒー豆を焙煎した、新鮮でおいしいコーヒーが一杯押しのお店です。コーヒー好きの人はもちろん、缶コーヒーしか飲んだことがないという人、良質な豆から作った本当のコーヒーのおいしさを味わってみてください!このお店のコーヒーは県内だけでなく、県外からのリピーターも絶えないほど、一度飲んだら、やみつきになるおいしさです。コーヒー豆の販売も行っていますので、自宅でも本格的なコーヒーをどうぞ。

コーヒーといっしょに食べるケーキも最高です。自家栽培で採れたブルーベリーやりんごなどのフルーツをふんだんに使った手作りケーキは、季節ごとにいろいろな味が楽しめます。また、お昼には自家栽培で採れた野菜を使ったランチも楽しめます。

夏はかき氷もやっていますので、緑が丘公園やプールで遊んだ後、「くつろぐ」に足を運んでひと休みしてはいかがですか。

仲のよいお友達やカップルでまった〜りおしゃべりをしたり、日々の生活の疲れを取りたい方、是非一度、足を運んでみてください。

おいしいケーキやコーヒーのいい香りに癒されますよ。

東日本大震災の被災地 宮城県南三陸町における 医療救護班活動

本学では、3月11日に発生した東日本大震災の被災地の復興支援のため、宮城県及び山梨県からの要請に基づき3月18日から5月13日に宮城県南三陸町への医療救護班の派遣を行いました。この間、南三陸町に医療救護班19班、特別編成班3班、延べ124名（医師31名、薬剤師6名、診療放射線技師1名、臨床検査技師2名、理学療法士1名、調理師1名、看護師37名、事務員45名）の職員を派遣し、医療救護を通じて南三陸町の復興を支援しました。

この活動に対し、山梨県福祉保健部吉原医務課長から島田病院長へ、感謝状が贈呈されました。



避難されている皆さんに向け医療救護活動終了の挨拶をする島田病院長(右端)[5月13日歌津中学校避難所にて]中央は及川区長(歌津地区)左端は及川保健師(南三陸町)

「連続市民公開講座」 受講生募集中!

【日時・場所】

開催日:「スケジュール一覧表」参照
会場:山梨大学 甲府東キャンパス
A2-21教室
定員:330人
時間:午後1:30~3:00まで
(午後1時開場)
受講料:無料

【申込方法】

受講希望日・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、下記のいずれかの方法で「山梨大学教務課公開講座担当」宛まで送付してください。(事前申込がなくても当日参加可能です。)

◎葉書・封書の宛先

〒400-8510
甲府市武田4-4-37
山梨大学教務課

◎電話の場合

TEL 055-220-8043

◎FAXの場合

FAX 055-220-8796

◎電子メールの宛先

koukai-kouza@yamanashi.ac.jp
題名は「連続市民公開講座申し込み」

読売新聞社甲府支局と共催で連続市民公開講座「育む〜輝ける未来を拓く 夢あふれる可能性に光を当てる」を開催しています。出産や子育て、教育といった、「育」という言葉から一般的に想像される分野だけでなく、「燃料電池を使ったエコ生活の実現」「街づくりと景観形成」など多岐にわたるテーマについて、第一線で活躍する本学の教員が身近な例を挙げながら、分かりやすく解説します。

第4回まで終了していますが、これから開催される講座がありますので、ぜひご参加ください。

【スケジュール一覧表】

| | 開催日 | 講義題目 | 講師 |
|------|-------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 第1回 | 4月16日(土) | 健やかなからだを育む ~子どもを取り巻く問題の解決に向けて~ | 中村和彦 教授 (教育人間科学部) |
| 第2回 | 5月21日(土) | 子どもの「育ち」を追跡する ~エコチル調査、出生コホート研究とは~ | 鈴木孝太 特任准教授 (附属出生コホート研究センター) |
| 第3回 | 6月18日(土) | 自然の中で生きる力 ~狩猟採集民のライフスタイルから学ぶ~ | 川村協平 教授 (教育人間科学部) |
| 第4回 | 7月16日(土) | 燃料電池の描く未来 ~クリーンエネルギー社会の実現に向けて~ | 内田 誠 教授 (燃料電池ナノ材料研究センター) |
| 第5回 | 9月17日(土) | 小児科医の使命 ~子どもを健全に育むために~ | 杉田完爾 教授(医学部) |
| 第6回 | 10月15日(土) | 音楽とは「音を楽しむ」ことか ~芸術、教育、療法の境界線に立つて~ | 手塚 実 教授 (教育人間科学部) |
| 第7回 | 11月12日(土) | 農林水産物の山梨ブランド ~新学部「生命環境学部」構想の挑戦~ | 常秋美作 教授 (教育人間科学部) |
| 第8回 | 12月17日(土) | ブドウと医学 ~身近な食物と私達のからだ~ | 竹田 扇 教授(医学部) |
| 第9回 | 平成24年 2月18日(土) | 大人による子どもの友だちづくり ~人と関わる力を育てる~ | 酒井 厚 准教授 (教育人間科学部) |
| 第10回 | 平成24年 3月17日(土) | 景観形成と地域活性 ~次代に受け継ぐまちづくり~ | 大山 勲 准教授(工学部) |

*講座の内容等は、ホームページ

(http://www.yamanashi.ac.jp/modules/extension_courses/index.php?content_id=2)

編集後記

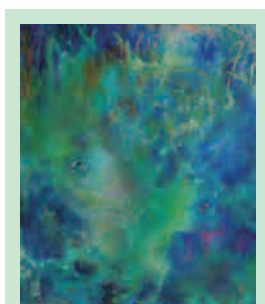
暑中お見舞い申し上げます。

3月11日の東日本大震災から4カ月が経過しました。私は地震の時東北地方の方と電話をしていて、電話により地震を知り、そして数分後にこちらの建物の長い時間の大きな揺れを経験し、今回の地震の大きさに驚きました。毎日報道されるニュースから、災害の大きさ、深刻さ、更に震災にあわれた方々のご苦勞は、計り知れないことが伝わってきます。また、日本全体への影響は、広範囲にわたっています。

大学でも節電に努め、学生も教職員も、これまでの電力利用を考え直す機会になりました。私も蛍光灯を半分にし、空調もストップ。毎日飲料水を机の上において、飲んだ量を確認しています。

今年も年3回「Vine」を発行します。変化の多いこの頃ですが、今の山梨大学をお知らせいたします。

広報誌専門委員会委員長 武藤秀夫



表紙作品の紹介

タイトル

「青の内側から」

四條朋恵

大学院 教育学研究科
芸術文化コース 1年

山梨大学広報「ヴァイン」 August 2011 vol.14

発行者:山梨大学広報誌専門委員会

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務・広報課広報グループ

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。